

令和8年度 学校評価報告書(目標設定)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>① ・生徒が主体的に学ぶ意欲を養い、自ら課題を見出し解決するための思考力、判断力、表現力を育む。</p> <p>② ・学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体性の伸長を図る。</p>	<p>① ・「プログラミング的思考を取り入れた授業実践における思考力・判断力・表現力の育成の研究の継続と、論理的思考力を構築する考えるための10の技法を主体的に選択・活用できる力の育成」を目標とし、組織的な授業改善を行う。</p> <p>② ・学校行事や生徒会活動を生徒主体で取り組ませる。生徒自らが発信する機会を多く作り成功体験を積むことで人間力の向上を図る。</p>	<p>① ・プログラミング的思考についての外部講師による研修会を2回実施する。</p> <p>② ・生徒会行事等を生徒主体で企画・立案・運営させる。</p>	<p>① ・生徒による授業評価で「考えをまとめる授業」、「課題解決方法を考える」項目で評価3・4を合わせて90%以上となったか。</p> <p>② ・体育大会、文化祭、球技大会を実行委員会中心に生徒の意見を集約して企画、立案、運営させることができたか。</p>
2 生徒指導 ・ 支援	<p>① ・基本的な生活習慣・社会的な生活習慣を定着させ、平和と人権を尊重する公民の育成を目指す。</p> <p>② ・部活動を活性化させ、責任感や連帯感を育成する。</p>	<p>① ・頭髪、服装指導を徹底して規範意識を高めていく。</p> <p>・生徒の現状に合った指導の徹底と交通安全の意識を高め、事故発生等を減らすように努力する。</p> <p>・困難を抱える生徒の把握に努め、適切な支援を確実に行う。</p> <p>② ・部活動オリエンテーションや部活動体験を充実させ部活動加入者を増やすことで、学校全体の活性化に繋げる。</p>	<p>① ・生徒との信頼関係に基づいて、事前指導を徹底し、頭髪・服装指導や遅刻指導を粘り強く指導していく。</p> <p>・交通事故の防止と交通マナーの指導を徹底する。交通安全教室を行う。</p> <p>・かながわサポートドックいじめアンケートなどを活用し、SC・SSWと連携し、教育相談体制を拡充させる。</p> <p>② ・部活動オリエンテーションや部活動体験を生徒主体の運営とすることで、入部に対するハードルを下げ加入率の向上を図る。</p>	<p>① ・頭髪、服装指導の件数が例年に比べて減少したか。</p> <p>・交通事故の発生件数や、苦情の件数は減少したか。</p> <p>・いじめ等の重大案件の発生が減ったか。</p> <p>・サポートドックの結果分析会を2回実施することができたか。</p> <p>② ・部活動入部率が、新入生で48%以上、学校全体で45%以上であったか。</p>
3 進路指導 ・ 支援	<p>○ ・キャリア教育実践プログラムを充実させ、生徒のめざす進路希望実現を支援する。</p>	<p>① ・進路実現に向けて、1・2年生での進路探究を充実させ、進路目標決定者が増えるよう工夫する。</p> <p>② ・自立した社会人として必要な基礎学力の定着に向けた指導と、幅広い選択肢を示す進路支援を行うことで、自らキャリアをデザインできる生徒の育成を目指す。</p> <p>③ ・生徒や保護者に向けた各種情報発信を徹底する。</p>	<p>① ・本校の36ヶ月キャリア計画をもとに、外部の進路業者とも連携して多種多様な講演会やガイダンスを行う。</p> <p>・面談や進路希望調査を通して進路目標決定者の推移を調査する。</p> <p>② ・ベネッセの模試等を活用し、学力の推移を調査する。</p> <p>・進路行事ごとに振り返りを、eポートフォリオへ記録する。</p> <p>③ ・Classroom やすぐー等を活用し、進路関連情報を生徒や保護者に提供する。</p>	<p>① ・2年3学期時点での進路目標決定者が7割を超えたか。</p> <p>・3年2学期時点で生徒が自身の進路実現計画を立てることができたか。</p> <p>② ・ベネッセの模試等で各学年の平均GTZがC3以上となったか。</p> <p>・eポートフォリオへの記録を年3回以上行わせることができたか。</p> <p>③ ・年間を通じて、その時期に応じた進路情報を生徒には毎月1回以上、保護者には年3回以上提供できたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保護者、地域と連携し、信頼される学校づくりを推進する。</li> <li>② 学校からの情報発信に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 信頼される学校を目指し、要請に応じて、積極的に生徒の地域活動への参加を推進する。</li> <li>② 学校説明会、中学校への学校説明会、学校紹介資料の配付、HP等を通して本校の特色を幅広く紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① すぐー等でサポーターや生徒への協力を依頼し、教育活動への理解と積極的な支援や参加を促す。</li> <li>② 学校説明会や学校紹介資料、学校HPの更なる充実を図り、本校の魅力・特色を幅広く適時に発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 活動への参加者が、昨年度よりも増えたか。</li> <li>② HPは常に最新データに年20回更新したか。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 安全で安心な教育環境を確立する。</li> <li>② 教職員の働き方改革に取り組み、ワークライフバランスを推進する。</li> <li>③ 教職員全体で事故防止に取り組む。</li> <li>④ 学校図書館を学校生活の様々な場面で活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① PTA・生徒が一体となって安全でより良い教育環境を目指す。</li> <li>② 適切な業務分担と協力体制の構築により、働きやすい職場づくりを行う。</li> <li>③ 不祥事防止研修を効果的に実施し、事故の未然防止に取り組む。</li> <li>④ 学校生活の様々な場面を想定して、生徒や先生がより利用しやすい図書館運営を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 登校指導や自転車点検、花壇整備など、安全安心な教育環境の整備を計画的に実施する。</li> <li>② 計画的な業務遂行により、年次休暇等の取得や勤務時間外勤務の短縮をする。  業務アシスタント、ICTサポーター、業務サポーター等の人材を有効活用する。</li> <li>③ 研修や面談を通し問題意識を共有し、事故につながりそうな状況を自分事としてとらえる。</li> <li>④ 生徒からリクエストした本や授業に必要な資料を購入するなどして本校生徒のニーズに合った図書館運営を行う。かなエルについても活用を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① PTAや生徒会、部活動などと連携し、環境整備を計画的に実施できたか。</li> <li>② 月80時間以上の超過勤務をする職員をゼロ、45時間以上の超過勤務をする職員を減らす等、長時間勤務を解消することができたか。 人材を計画的、組織的に活用できたか。</li> <li>③ 事故不祥事の発生を防げたか。未然防止の適切な対策ができたか。</li> <li>④ 図書館における授業時間数や利用される場面は昨年度より増加したか。 かなエルについて、一定数以上の利用があったか。</li> </ul>